



ミライノウミプロジェクト 放射能汚染水の海洋放出に反対する プロジェクトに賛同いただけませんか

東日本大震災・福島第一原発事故から12年。
いまだに避難生活を強いられている住民が27,000人以上いるなかで、
日本政府は再び原子力推進施策に舵を切りました。福島では、「ALPS処理水」と政府・東京電力（東電）が呼ぶ汚染水の海洋放出が強行されようとしています。政府・東電は一方的に「ALPS処理水」は安全で、海洋放出を行っても問題ないことをアピールしています。



政府・東電は「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」と約束したことを反故にし、福島県漁連をはじめとする地元の反対があるにもかかわらず、「廃炉のためには仕方ない」とさらなる負担を福島の人たちに課そうとしています。

政府・東電は汚染水を海洋放出しないと廃炉作業に支障が生じるとしていますが、とりあえずの土地確保でしかなく、廃炉の具体的道筋も描けない中でのその理由は、ごまかしてしかありません。韓国、中国をはじめ太平洋諸国からも海洋放出反対の声があがっています。

ともに放射能汚染水の海洋放出に反対の声をあげましょう。

ご賛同のお申込みは裏面をご確認ください

「ミライノウミプロジェクト」呼びかけ団体

私たちは原子力エネルギーに頼らず、再生可能エネルギーで生活する持続可能な社会の実現をめざしています
原子力資料情報室 (CNIC) / 原水爆禁止日本国民会議 (原水禁) / 福島県平和フォーラム



私たちの主張

- ・汚染水の海洋放出に反対します。
- ・政府・東電が主張している安全性について反証します。
- ・福島県漁連をはじめ、地元で反対している人がいることを知って、受け止めてください。
- ・安易な海洋放出ではなく、タンクの増設等を検討するべきです。
- ・原発事故により生じた放射性物質は二度と自然界に放出せず、封じ込めなくてはなりません。
- ・放射能による健康被害について、補償すべきです。
- ・キレイナウミをミライにまで残さなくてはなりません。



思い描くミライ

- ・原発事故により放出された放射性物質を恐れることのない安全な暮らし
- ・自然環境をこれ以上壊さず、人と自然が共生できる持続可能な暮らし
- ・海産物を食したり、海でレジャーを楽しんだりすることに不安を感じない暮らし
- ・生活する人が笑顔で安心して子どもを育てられる暮らし
- ・原発のない暮らし

具体的なとりくみ

- ・放射能汚染水の海洋放出に反対する署名を立ち上げ、できるだけ大規模でとりくめるようにします。
 - ・「ミライノウミ プロジェクト」ホームページを立ち上げ、汚染水海洋放出反対の発信を行います。
 - ・賛同する団体や個人を募り、放射能汚染水海洋放出反対運動のプラットフォームをめざします。
 - ・ショートムービーを作成し、一方的な政府・東電のプロモーションだけではないことを訴えます。
 - ・汚染水の海洋放出を阻止することが第一目標。
- 仮に強行されてしまったとすると、一刻も早く海洋放出を止める運動に継続的にとりくみます。
- ・海外にむけてアピールできるよう、多言語での発信をおこないます。
 - ・「知ってほしい」「忘れないでほしい」「約束を守ってほしい」とする現地のみなさんと連帯したとりくみをおこないます。

この活動に賛同いただける方はオンラインフォーム、紙フォームおよびメールにてご連絡ください



オンライン賛同フォーム

団体、個人どなたでも賛同いただけます

右側のQRコードからフォームにお進みいただき、必要事項をご入力の上、送信をお願いいたします。



メールでお申込み

contact@mirainoumi.info

件名を「賛同申込」として、団体名もしくは個人名、メールアドレス、電話番号、ご住所をご記入のうえメールでお送りください。



紙フォーム

申し込み用紙については、呼びかけ団体にお問合せください。呼びかけ団体は表面に記載しています。



<https://mirainoumi.info>

お問合せ: contact@mirainoumi.info

7/30日 から!

クラウドファンディング開始予定 ▶▶

<https://readyfor.jp/projects/mirainoumi>



「ミライノウミプロジェクト」キャラクター
製作者: 鈴木邦弘さん

(イラストレーター/絵本作家)



Youtubeチャンネルで動画配信中!
[@mirainoumi](https://www.youtube.com/mirainoumi)